



MWS2017

コミュニケーション施策振り返り

Trend Micro Inc.

Threat **R**esearch and **S**olution **T**eam

YUKA HIGASHI



みなさま

当日参加&アンケート回答

ありがとうございました😊

Agenda

- 施策について
- 統計情報
- アンケート結果
- 課題
- 今後の利用について

今年の施策

発表者の着席エリア指定

- 座長席の付近に着席いただく

Slackの活用

- SlackにセッションごとにChannelを作成する

参加者数 & 投稿数

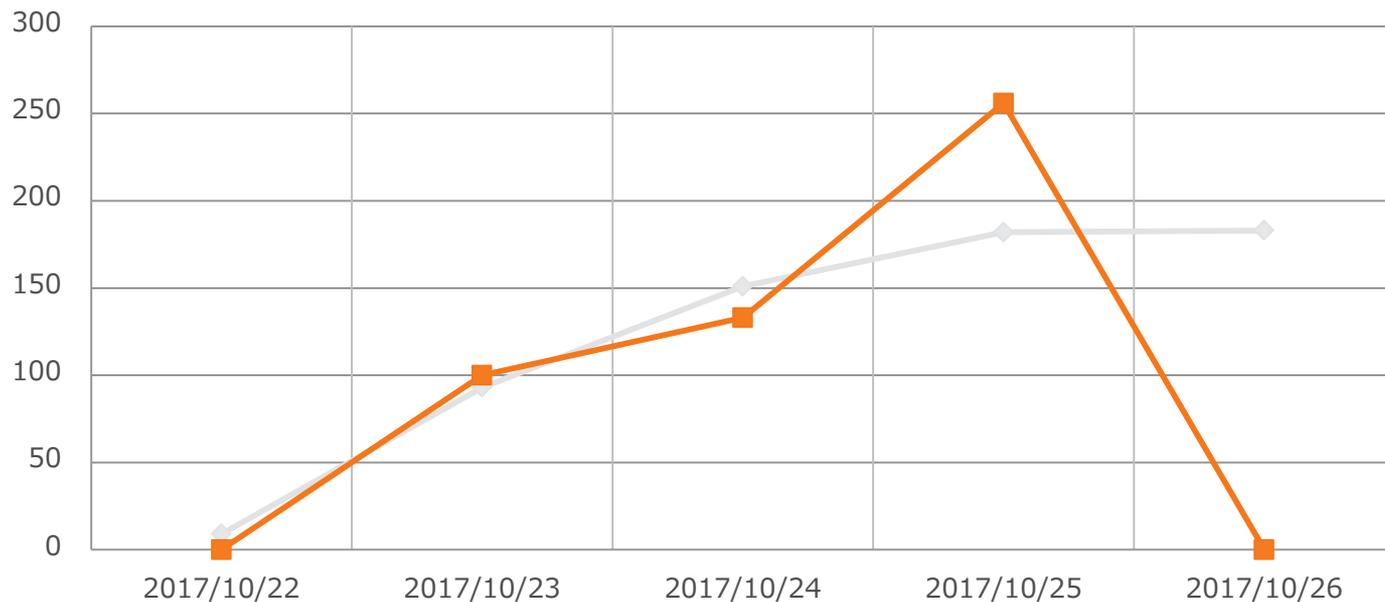
Slack登録者数

累計 183 人

投稿数

累計 489 post

Daily



	2017/10/22	2017/10/23	2017/10/24	2017/10/25	2017/10/26
参加者数 (累積)	9	93	151	182	183
公開チャンネルでのメッセージ数	0	100	133	256	0

Message Post Top5

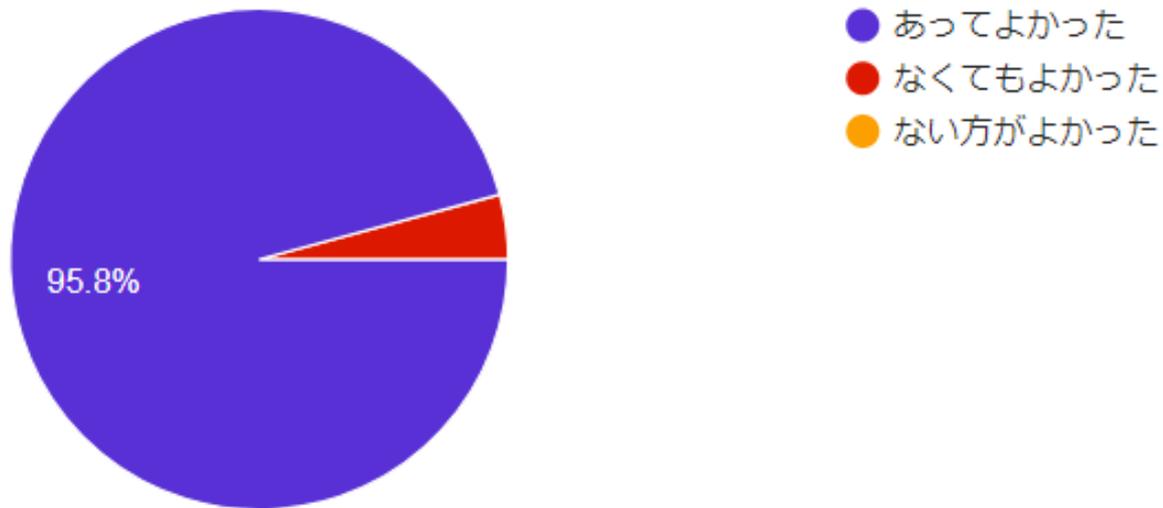
Session	Messages Posted	Purpose
3b1	89	インシデント対応 (座長: 神藺 雅紀)
1a4	78	MWS 特別企画
3b2	72	Webセキュリティ (座長: 竹迫 良範)
3a3	58	マルウェアとAI・機械学習 (1) (座長: 重本 倫宏)
1a3	54	MWS Cup プレゼンテーション

アンケート結果

回答してくださった24名のみなさま！

😊 ありがとうございます😊

Slackの導入はいかがでしたか？



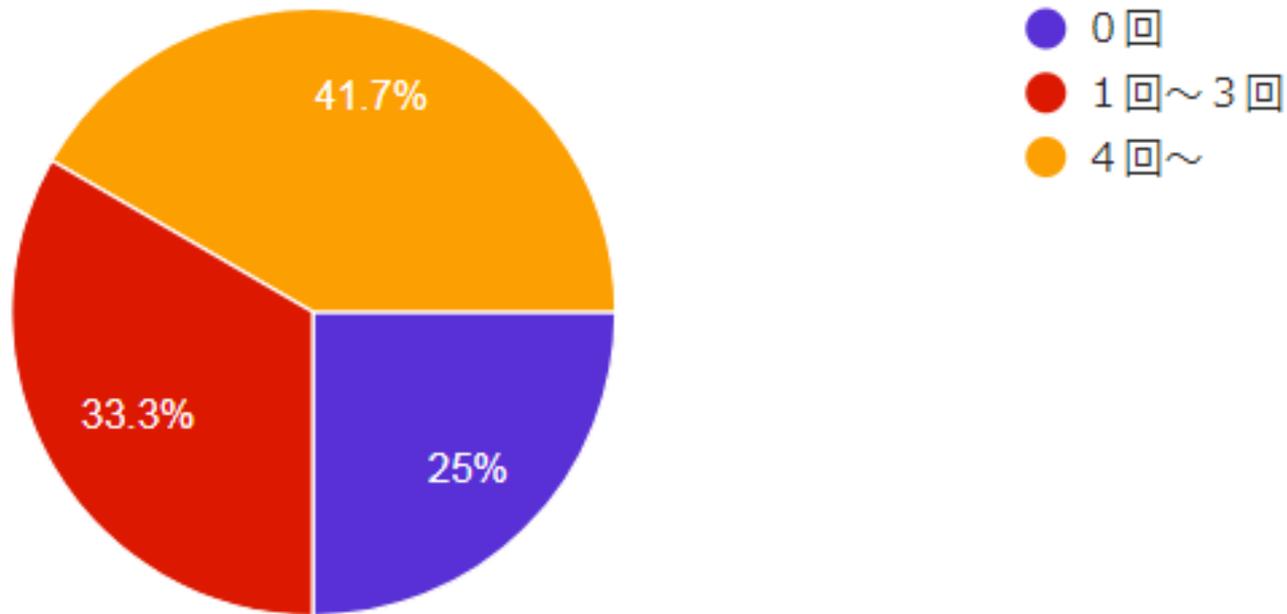
Feedback



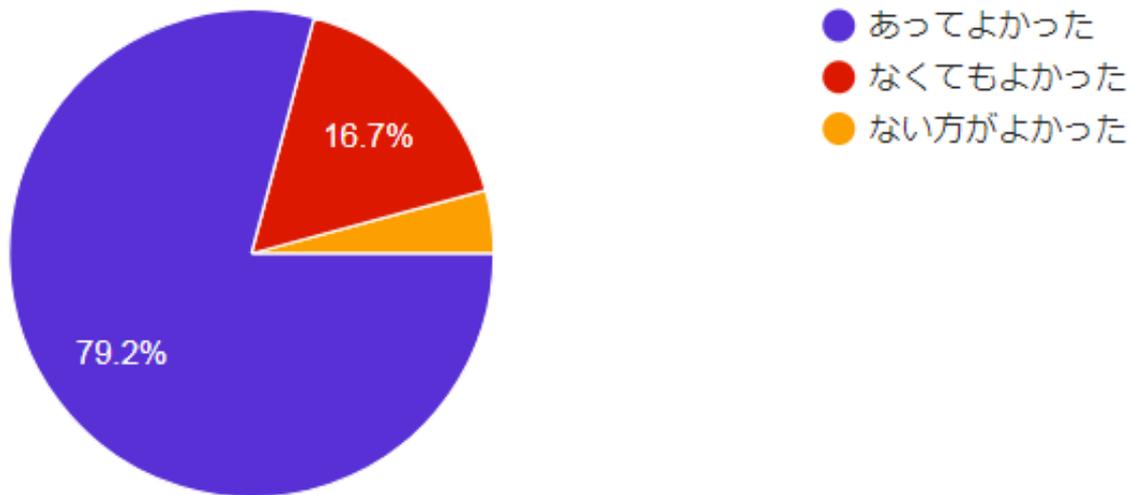
- 発表時間外での議論の発生した
 - 質問者以外の聴講者の考えが見えた
 - 周辺情報の共有があった
 - ささやかな質問がしやすくなった
 - 参加できていないセッションの状況が分かった
- 活発な議論があったかという
と疑問が残る
 - 書き込むタイミングが難しかった



Slackへの投稿数



発表者席の導入はいかがでしたか？



Feedback

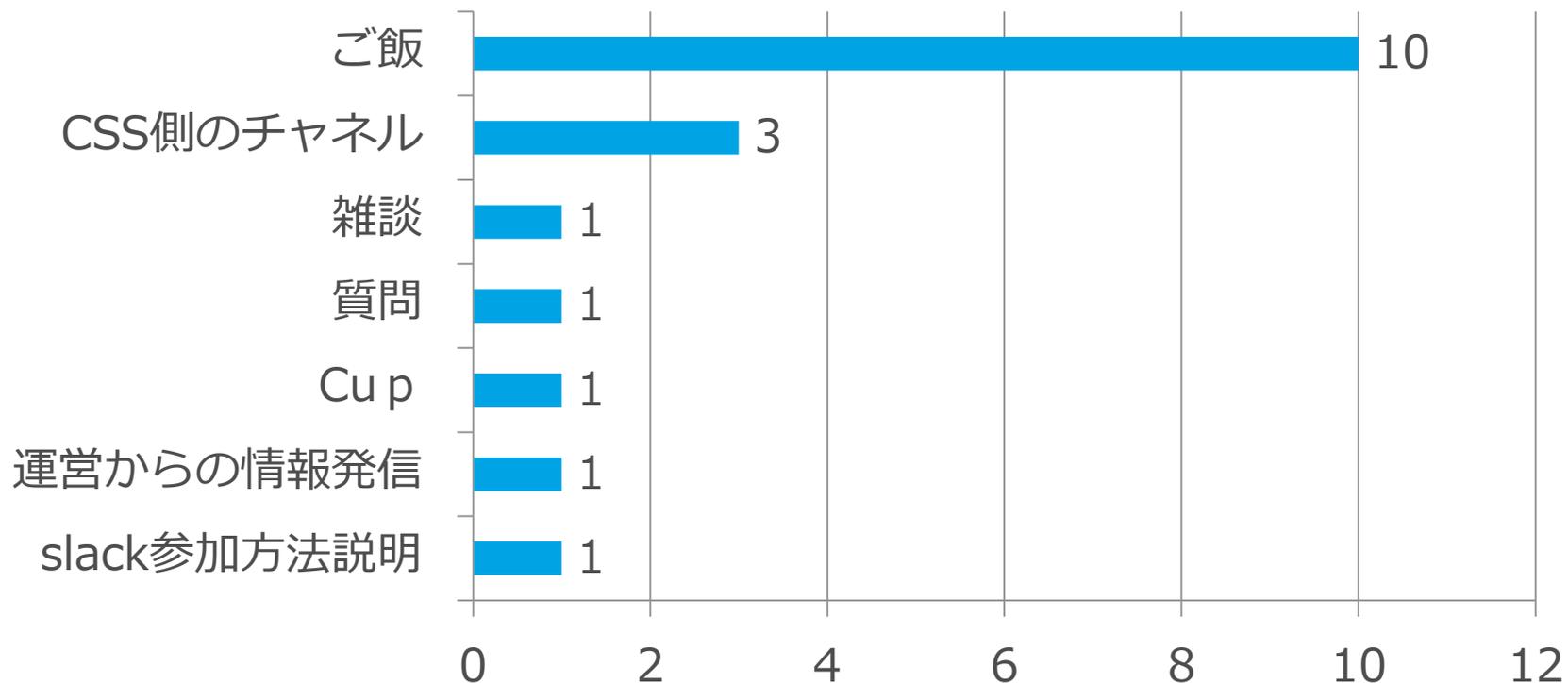


- 質問しやすくなった
 - 発表者を探す手間が減った
- 発表者同士で議論ができた
- 発表の切り替えも早くなった

- 質問したいときは探すのであってもなくてもよかった
- セッション後は移動等あるので声自体かけ辛い
- 発表前は緊張しているため自分が落ち着ける席に座りたい



会期中あったらうれしいチャンネル



改善点

- 発表者席
 - 設置場所
 - 今回はスクリーンを横切る形に
- Slack
 - CSS全体への展開
 - チャンネルが多すぎる
 - 会場と日で別けるぐらいでよいのでは？
 - ボットをうまく使ってみては

課題～Slack～

- 議論が進まないものもあった
 - 発表者等がコメントや質問に答えていないものも
- 投稿者に偏りがあった
- メールアドレスが別の参加者に見えてしまう
- 継続して使う場合
 - 新規ユーザの招待方法や古いユーザの入れ替え
 - 会期中以外に過疎化しない仕組み
 - 無償アカウントでよいのか？
 - 別ツールの利用も視野に（DISCORDなど）

今後は？

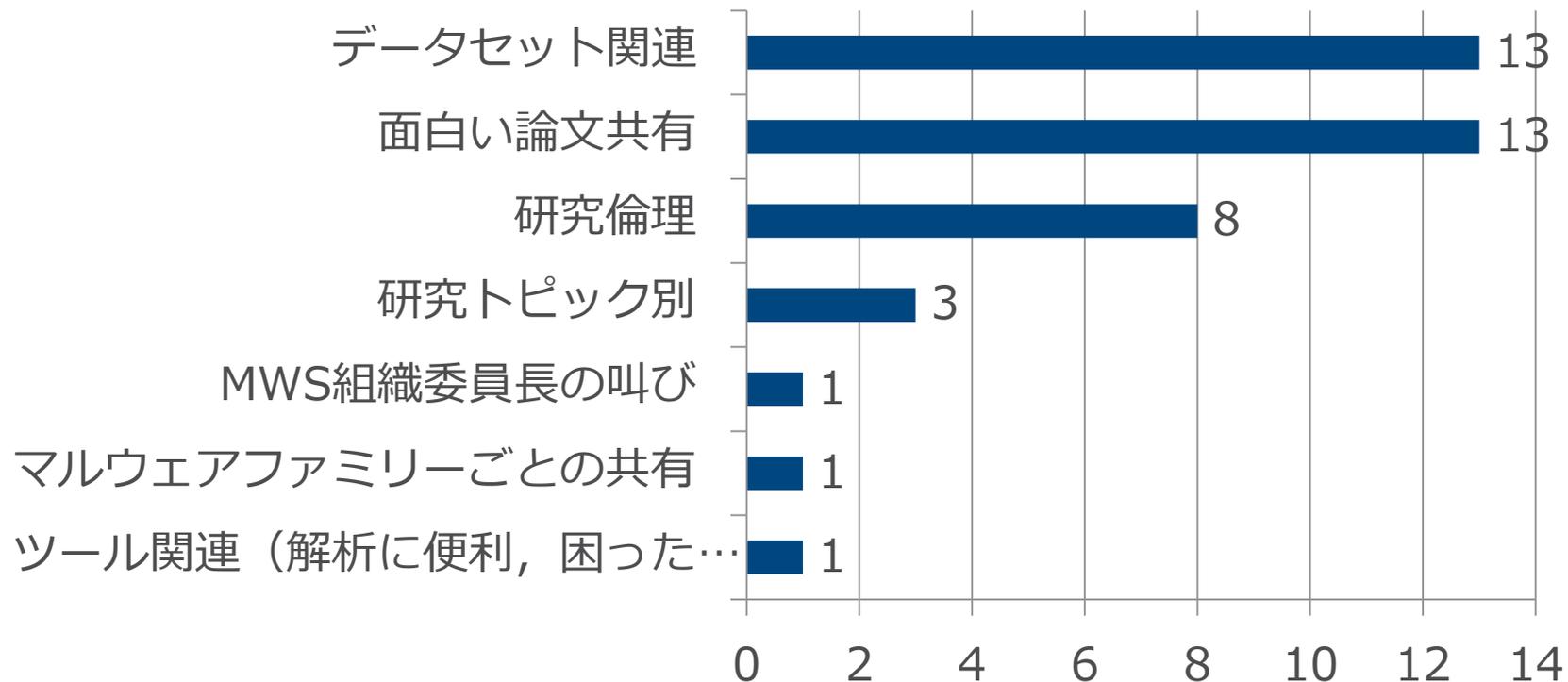
一定の効果があつたといえるが、継続して
使用するための議論が必要

MWSコミュニティ
として？

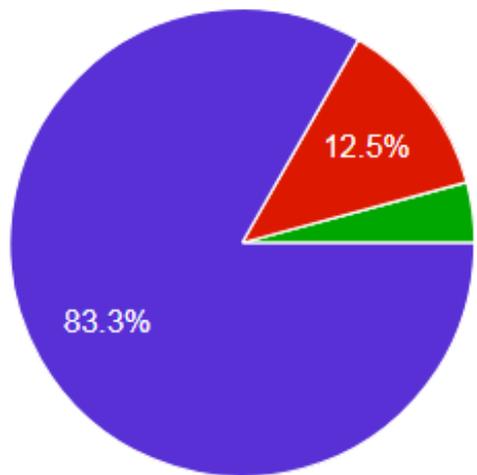
研究会やシンポジウムでの
ディスカッション用？

何のために使う？

あると嬉しい常設チャンネルは？



来年のMWSでSlackが



- あったほうがいい!
- あってもなくてもよい
- ない方がよい
- あって困るものではないのであってもよい

まとめ

大きなトラブルもなく、議論の機会は少し増加した
Onlineでやり取りができる場として継続して使っていきたい

ただ、その前に検討すべき事項がある

- ガイドラインの策定
 - 新規ユーザの招待方法や古いユーザの入れ替え
 - 無償アカウントでよいのか？